



TITLE:

[共同利用・国際協同観測・研究交流]ドームレス太陽望遠鏡(DST)国際・国内協同観測

AUTHOR(S):

CITATION:

[共同利用・国際協同観測・研究交流]ドームレス太陽望遠鏡(DST)国際・国内協同観測. 京都大学大学院理学研究科附属天文台年次報告 2014, 2012年(平成24年): 41-41

ISSUE DATE:

2014-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/196599>

RIGHT:

8 共同利用・協同観測・研究交流

8.1 ドームレス太陽望遠鏡 (DST) 共同利用

公開期間: 4月9日–8月3日、9月10日–12月14日 (約7ヶ月)

京大以外の研究者への共同利用割り当て日数: 計 62 日間

利用者 (実施順):

花岡 庸一郎 (国立天文台) 計 10 日間

「 $H\alpha$ など彩層吸収線の分光偏光観測による偏光生成層の物理の研究」

野澤 恵ほか (茨城大) 計 5 日間

「茨城大学 太陽分光観測実習」(教育実習枠)

笠羽 康正、坂野井 健 (東北大) ほか 計 7 日間

「金環日食・金星日面通過を用いた月・金星ナトリウム大気成分の検出」

三浦 則明、宮崎 順一 (北見工業大学)、馬場 直志 (北海道大学) 計 21 日間

「上空大気ゆらぎ層の高さの測定および multi-conjugate センシング実験」

「multi-conjugate 補償光学実験」

竹田 洋一 (国立天文台) 5 日間

「スペクトル線強度の太陽面中心 - 周縁変化の観測に基づく

NLTE 線形成理論の検証」

横山 央明ほか (東京大) 計 4 日間

「東京大学 地球惑星物理観測実習」(教育実習枠)

坂江 隆志ほか (浦和西高校) 計 5 日間

「飛騨天文台 DST を用いた自作太陽分光器多波長スペクトロヘリオグラフの

性能評価 (太陽活動領域の 2 次元分光観測と月の岩石・大気による吸収の検出)」

野澤 恵、大川 明弘 ほか (茨城大) 計 5 日間

「太陽黒点における振動現象の解析」

8.2 ドームレス太陽望遠鏡 (DST) 国際・国内協同観測

(のべ 12 日)

8月13日–8月24日

”Cooperative Observations between Hida & Hinode”

with HINODE (HOP0128)